

科目名 Course Name	保育実習 I Childcare Practice I			ナンバリング No.	K1-015		
年次	1・2年	期別	通年	単位数	4	授業形態	実習
担当者氏名	栗原多恵						
連絡方法	講義棟3階研究室か、メール、C-Learning で対応する						
必修/選択	選択(保育士養成課程必修)						
関連 DP	DP3,DP4,DP5						
授業の概要と到達目標	保育所と児童福祉施設等における実習に臨み、それぞれの施設の機能と役割を理解するとともに、子どもたちの理解を深める。また、子どもたちや職員との交流を通して、保育士の職務内容、職業倫理、子どもの最善の利益の具体化について学ぶ						
授業の方法	実習						
学習成果	L01	保育士としてのコミュニケーション能力などを身に着けられる。					
	L02	子どもや保護者の願いを理解した支援を実践できる。					
	L03	支援を要する子どもたちの気持ちを理解した支援ができる。					
	L04						
課題に対するフィードバック	実習巡回時に実習担当教員より指導。						
教科書/参考図書	保育実習の手引き(佐野日本大学短期大学)						
履修上の留意点やルール等	保育実習指導 I の授業を必ず履修し、単位取得の成績を得ていること。保育士必修科目の必要単位が取得されていること(不可や欠時不認定の科目が多い場合は、面談の上実習延期や辞退を判断する)。実習に臨む態度や意欲を明確に示し、実習施設に対して適切に行動できること(状況によっては実習延期や辞退も検討する)。						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度					
レポート/作品					
発表					
小テスト					
試験					
その他	実習施設においての評価基準により評価された5段階評価に基づく。2、1の評価は不可にする(5:すぐれている、4:ややすぐれている、3:普通、2:やや努力を要する、1:努力を要する)。	20	40	40	
合計		20	40	40	

回数		授業計画
1	授業内容	【保育所における実習】 90 時間:2 単位
	事前・事後学習	
2	授業内容	保育所の生活に参加し、乳幼児への理解を深めるとともに、保育所の機能と職務について学ぶ。
	事前・事後学習	
3	授業内容	(1) 保育所について理解する。 (2) 保育所の一日の流れを理解し、参加する。
	事前・事後学習	
4	授業内容	(3) 児童の観察やかかわりを通して、乳幼児の発達を理解する。 (4) 保育計画・指導計画を理解する。
	事前・事後学習	
5	授業内容	(5) 生活や遊びの一部分を担当し、乳幼児の発達を理解する。 (6) 職員間の役割分担とチームワークについて理解する。
	事前・事後学習	
6	授業内容	(7) 記録や保護者とのコミュニケーションを通して、家庭・地域社会を理解する。 (8) 児童の最善の利益を具体化する努力について学ぶ。
	事前・事後学習	
7	授業内容	(9) 保育士としての職業倫理を学ぶ。 (10) 安全及び疾病予防への配慮について理解する。
	事前・事後学習	
8	授業内容	【児童福祉施設等における実習】 90 時間:2 単位
	事前・事後学習	
9	授業内容	児童福祉施設等の生活に参加し児童等への理解を深めるとともに、施設の機能と職員の職務を学ぶ。
	事前・事後学習	
10	授業内容	(1) 実習施設について学ぶ。 (2) 養護の一日の流れを理解し参加する。
	事前・事後学習	
11	授業内容	(3) 児童等の観察やかかわりを通して、願いや心情を理解する。 (4) 援助・支援計画を理解する。
	事前・事後学習	
12	授業内容	(5) 生活や援助などの一部を担当し、養護技術の習得を目指す。 (6) 職員間の役割分担とチームワークについて理解する。
	事前・事後学習	
13	授業内容	(7) 記録や保護者とのコミュニケーションを通して、家庭・地域社会を理解する。 (8) 児童の最善の利益のための配慮を学ぶ。
	事前・事後学習	
14	授業内容	(9) 施設職員の職業倫理について学ぶ。 (10) 安全及び疾病予防への配慮について理解する。
	事前・事後学習	
15	授業内容	学生自身が実習に向けての課題を持ち、各項目の内容を取り組み、内容に応じた実践を行う。
	事前・事後学習	実習園の概要や特徴を資料等で確認する。実習オリエンテーションなどは、実習園と適切に連絡を取り合う。実習後の書類管理・その他は守秘義務を負うことを理解する。